

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）対象事業

コキアの郷づくりプロジェクト

町民が育てたコキアを観光資源に活用するシビックプライドの醸成と新たな観光名所の開発

湯河原町では閑散期である9月～10月に見頃を迎えるコキアを将来の本町の観光の発展に寄与する名所とするために、星ヶ山公園の耕作放棄地の一部をコキアの郷に整備しています。

コキアの育成については、町民を中心としたコキアサポーターが各自、種から苗に育て、コキアの郷に地植えしています。

自らが育てたコキアが観光資源となるシビックプライドの醸成と、見頃を過ぎた後も種を収穫し、次年度の活動に循環させることで、持続可能な取組みとしてプロジェクトを推進していきます。

令和8年度（4年目）目標事業費
（全額をコキアの郷づくり事業に活用）

13,128,000 円

ロードマップ&4年目の計画

■ ロードマップ

3年目（R7年度）
【実証実験①】

- ・ 土壌改良
- ・ 育成環境調査

4年目（R8/今年度）
【実証実験②】

- ・ 育成環境調査
- ・ イベント実施

5年目（R9年度以降）
【本格運用移行】

- ・ イベント実施
- ・ 第二整備地検討

■ 今年度（R8）の計画

これまでの土壌改良や育成に係る経験を積み上げ、コキア育成の精度を上げ、観光客の誘客及び鑑賞イベントを実施。

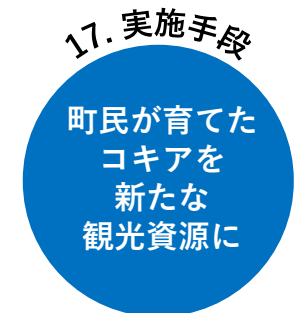
- 4月～5月 種～苗育成
- 6月～7月 苗の植栽
- 7月～9月 水やり・除草など
- 9月～10月 イベント実施（土日に湯河原駅～コキアの郷の臨時バス運行など）
- 11月～12月 伐根・種採取



■ ご寄付をいただく企業様への主なメリット

- 町ホームページへ企業名等の掲載
- 町広報誌へ企業名等の掲載
- コキアの郷イベント期間中の企業名等の掲載
- 感謝状贈呈式の開催（100万円以上）
- 国の紺綬褒章への推薦（1,000万円以上）

■ 本事業によるSDGsへの貢献



【コキア】 ヒユ科（旧アカザ科）ホウキギ属／一年草

和名をほうき草といい、昔はこの茎を乾燥させてほうきを作っていました。実（み）は“とんぶり”といい「畑のキャビア」として親しまれています。（本町のコキアは観賞用）
7月上旬から夏の日差しを浴びてすくすく成長していくライムグリーンのコキアは、丸々とした可愛い形と、柔らかな感触がお楽しみいただけます。9月下旬から10月上旬頃にかけて、夏の緑色から少しずつ紅葉し始め、日々移ろいゆく緑と赤のグラデーションの色合いも魅力的です。